

新宗教新聞

新宗連スローガン
宗教の自由を守ろう
信仰心を広めよう
宗教協力を進めよう
世界の平和に貢献しよう

青関東・青東北連 復興フレンドシップツアー

新日本宗教青年会関東連盟(青関東連、鎌形至委員長)と新日本宗教青年会東北連盟(青東北連、浅野俊一委員長)は2月10、11日の2日間、「復興フレンドシップツアー」を、福島県を中心に開催した。「震災の記憶を風化させないこと」を重視し、現地を訪れ、被害と復興の現状を学び、今後の課題を現地の青年らと共に考えた。青関東連の東北支援は東日本大震災の翌年2012(平成24)年から、企画内容を変え、毎年継続し今年で6年目となる(6年間の歩み別掲)。

福島で研修、共に考える

10日午前8時、東京駅に青関東連からの参加者が集合しバスで出発。車内で事前学習を行い、途中、北関東東北連からの参加者と合流しからの参加者と合流した。

青関東 復興支援 6年間の歩み

青関東連は花巻宣言を受け、8日、新日本宗教青年会連盟(新宗連青年会)は、新日本宗教青年会東北連盟(青東北連)と連携し、東北の復興支援活動を行っている。東北の復興支援活動は、東北の復興支援活動を行っている。東北の復興支援活動は、東北の復興支援活動を行っている。

震災の記憶 風化させない



富岡町の震災慰霊碑前で祈願文を奉読

2月の節分を終え、暦の上では立春となりました。一日一日と春は近づいて来ているものの、本日に寒さが厳しい日々が続いています。その様な中でも散歩に出かけた青空で、遠く山々には真っ白な雪が輝いていて、冬ならではの凛とした大自然の美しさも感じることが出来ます。私はせめてここから春の兆しを感じることが出来ないかと、あたりを見回しながら歩いていました。



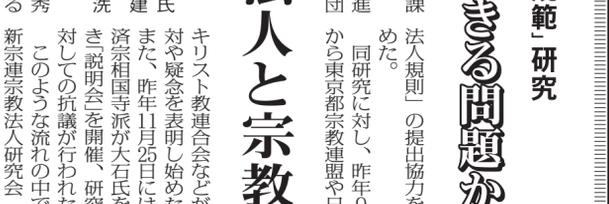
「国法と宗教法人の自治規範」研究 第三者が調整できる問題か

大石眞京都大学名誉教授が中心となり進めている「国法と宗教法人の自治規範」との対立・調整に関する研究が宗教界に波紋を呼んでいる。

「国法と宗教法人の自治規範」研究 第三者が調整できる問題か
法大石氏は、研究を推進するために、新日本宗教団体の「国法と宗教法人の自治規範」の提出協力を求めている。

「国法と宗教法人の自治規範」研究 第三者が調整できる問題か
法大石氏は、研究を推進するために、新日本宗教団体の「国法と宗教法人の自治規範」の提出協力を求めている。

「国法と宗教法人の自治規範」研究 第三者が調整できる問題か
法大石氏は、研究を推進するために、新日本宗教団体の「国法と宗教法人の自治規範」の提出協力を求めている。



「国法と宗教法人の自治規範」研究 第三者が調整できる問題か
法大石氏は、研究を推進するために、新日本宗教団体の「国法と宗教法人の自治規範」の提出協力を求めている。

「国法と宗教法人の自治規範」研究 第三者が調整できる問題か
法大石氏は、研究を推進するために、新日本宗教団体の「国法と宗教法人の自治規範」の提出協力を求めている。

宗教もしも相談室

03 3466-9900
受付 月曜～金曜 / 正午～午後4時

老春謳歌 長生きの秘訣

高年齢を快く生きるための「人生の道しるべ」
御木徳近著

神宮祭祀の研究

中西正幸 著
神宮祭祀の歴史と祭儀

日蓮聖人遺文

全篇解説
法華経の奥義

現代世界と宗教の課題

宗教間対話と公共哲学
星川啓彦 著

病氣・不幸の元に「怒り」

福聚の会



愛知県知立市の本部・大東山法隆寺で「平成30年節分会」を執り行った。

真心込め参拝者の厄払い

日本神宮本庁

日本神宮本庁(中島秀典)は厄年の者には「御守り」が授けられた。半から、北海道帯広市の帯広明神大社で節分厄祓祭を執り行った。

憐憫の情を持つ大切さ

晃妙寺

晃妙寺(松本晃芳法主)は2月3日午前11時から、大阪府枚方市の本部本殿で「星祭節分大祭」を執り行った。

互いに相和し睦まじく

大和教

大和教(保積敬子教祖)は2月3日午前11時20分から、宮城県塩釜市の本庁で「節分祭」を執り行った。

教えや信仰の本質掴んで

大慧會教団

大慧會教団(石倉恒男会長)は2月3日午前11時半から、大阪府堺市の本殿講堂で「第67回節分祭」を執り行った。

「三声一声」の掛け声で

解脱会

解脱会(岡野英祥法主)は2月3日午後1時から、埼玉県北本市の御霊地、解脱心館で立教90周年記念「節分会」を執り行った。

豆まき、厄除

「我欲の鬼」の成仏祈願

節分行事

春の節目に一年の幸福願う

妙智會教団

難を成佛させて頂きますと祈願。さらに新年早々の草津山根山の噴火や東北・北陸豪雪被害に想いを寄せながら、「このようなたかから、私達は本年頂戴した修行指針を信じ、お念がすべてを守る佛守護念になれるよう『お導き年』として修行させて頂く事を固くお誓い申し上げます。ご高らかに奏しました。

心の鬼、魔を払い清め

八津御嶽神社

八津御嶽神社(山本行徳)は2月3日午後6時から、副祭主が弓を用いた「鳴弦の儀」を執り行った。

感謝で素直に受け入れて

天心教

天心教(天元教主)は2月3日午後2時から、大阪府羽曳野市にある古市本庁の神前で「星祭節分大祭」を執り行った。

何が良きことかを感じて

玉光神社

玉光神社(本山一博宮司)は2月3日午後7時から、「節分祭」を執り行った。

何度でも生まれ変われる

天真教

天真教(神出修二教主)は2月4日午前10時から、三重県伊賀市の平安城神祇所で「星祭祈願祭」を執り行った。

「三徳」の実践こそ大事

法公会

法公会(榊原光徳会長)は2月4日午前10時から、愛知県知立市の総本山で「節分厄除祈願祭」を執り行った。

手渡して豆の尊さ感じ

修養団捧誦会

修養団捧誦会(出居徳久総裁)は2月4日午後2時から、東京・池袋の本部で「追儺式」を執り行った。

力を合わせて産み出す信仰

大和教団

大和教団(保積秀胤教祖)は2月4日午前10時45分から、仙台市の大國神社祈禱所で「節分厄除祭」を執り行った。

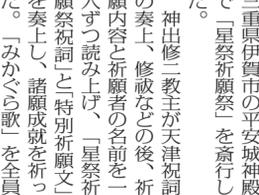
今年運勢と開運の心構え説く

真生会

真生会(田中庸仁会長)は2月4日午前10時から、岐阜市の総本山真生寺で「厄除け節分祭」を執り行った。



「餓鬼・畜生に通ずると説いたことを引き、「三悪道に墮ちないように、慈悲・誠・堪忍という三徳の実践がとて目大事である」と述べ、日々たゆまぬ精進が、必ず善き方向へと導いて頂きます」と説いた。



出教主を導師に、拍子木に合わせて「天真大真義文」を誦読。「七福の鈴のお授け」に移り、神出教主が金色の鈴のついた御幣で信徒一人ひとりに授けた(写真)。



最後に恒例の「抽選会」が行われ、保積統理も参加した抽選で豪華景品の当選者が発表される度に、歓声が上がり、賑やかなひとときを過ごした。



田中会長が「ご明察です」とおっしゃる中、開運の心構えを説いた。この後、本堂前の特設舞台上から、田中会長と祈願者らによる福豆まきが盛大に行われた(写真)。



「何かが正しく、良きことなると感じるようにしてほ」と呼びかけ、感じる意義があると説明した。

